

# 熊野市 通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

令和 3\_年 10 月

熊野市通学路安全推進会議

## 1. プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年8月に各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容についても関係機関で協議してきました。

引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「熊野市通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

## 2. 通学路安全推進会議の設置

関係機関の連携を図るため、以下をメンバーとする「通学路安全推進会議」を設置しました。本プログラムは、この会議で議論し、策定しました。

- |             |               |
|-------------|---------------|
| ・熊野市教育委員会   | ・熊野市建設課       |
| ・熊野市市民保険課   | ・熊野市小中学校長代表者  |
| ・熊野警察署      | ・紀宝警察署        |
| ・三重県熊野建設事務所 | ・国土交通省紀勢国道事務所 |

## 3. 取組方針

### (1) 基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を行います。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。

[通学路安全確保のためのPDCAサイクル]



## (2) 定期的な合同点検

### ○合同点検の実施時期等

- ・市内の小中学校を3つのグループ（A 新鹿小中、木本小中、井戸小、B 有馬小中、金山小、入鹿小中、C 五郷小、飛鳥小中）に分け、それぞれ3年に1回、合同点検を実施します。（表1参照）

（表1）

平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
Aグループ	Bグループ	Cグループ	Aグループ	Bグループ	Cグループ

- ・危険箇所については、事前に保護者等の意見をアンケート等により集約したうえで合同点検を実施します。
- ・効率的・効果的に合同点検を行うため、通学路安全推進会議において、重点課題を設定し、合同点検を実施します。
- ・実施時期については、概ね1学期中をめどとします。

### ○合同点検の体制

- ・小中学校ごとに、学校、道路管理者、警察等が参加する合同点検を行います。

## (3) 対策の検討

- ・合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに、交通規制、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や交通安全教育のようなソフト対策など対策必要箇所に応じて具体的な実施メニューを検討します。

## (4) 対策の実施

- ・対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図ります。

## (5) 対策効果の把握

○合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒等が安全になったと感じているのか等を確認するため、

- ・児童生徒及び保護者への聞き取り
- ・車両等の通行調査
- ・登下校指導

などの手法により、対策効果の把握を実施します。

## (6) 対策の改善・充実

- ・対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

## 4. 箇所図、箇所一覧表の公表

- ・小中学校ごとの点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために小中学校ごとの「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。

平成26年12月 策定

令和3年 10月 一部改訂